

ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館(ジオパーク推進室)
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

行事報告

7月10日(水)奥栗山溪谷の整備を行い、11日に奥栗山溪谷の調査を行いました。

7月12日(金)東京都練馬区北町小学校から90名にお越しいただき、川原の石の体験を行いました。

7月13日(土)大桁山にて現地観察会を行いました。今回は16名の方に参加いただき、大桁山の隆起の証拠(かつての海の地層が小坂川の河床と大桁山の山頂付近に見られる)を探りながら登山を楽しんでいただきました。

7月13日(土)関越自動車道上里SAにおいて、下仁田ジオパークのパンフレットの配布とPRをしてきました。

7月23日(火)館林ユネスコ協会の50名がお越しになり、ジオツアーを行いました。

7月24日(水)東京都あきる野市より28名がお越しになり、ジオツアーを行いました。

7月27~28日東京都科学技術館において、青少年科学の祭典にブース出展してきました。



▲川原の石の体験



▲1周年記念イベントの様子

自然史館の利用他 7月14~16日 本宿陥没研究会

行事予定 下仁田ジオパーク2周年記念イベント

日 時：9月8日(日) 9時~14時

集 合：下仁田町自然史館

内 容：南牧川の川砂からパンニング皿などを使い、上流より流れてくる宝石を見つけましょう!
昼食は下仁田かつ丼をお召上がりいただきます。

内 容：500円(昼食代・下仁田かつ丼)

申 込 み：お弁当の手配がありますので、お手数ですが必ずお申し込みください。

ネギとコンニャク・ジオパーク 「宮室の逆転層」

宮室の万年橋付近では、約8000万年前の跡倉層上部層の砂岩・泥岩のきれいな互層が見られます。一枚の地層(単層)の厚さは数cm~数十cmで、灰色の砂岩と黒色の泥岩がリズムカルなしま模様をつくっています。

単層の中で砂粒の大きさをよく見ると、下部は粗粒の砂で、上部にいくほど細粒になり、最上部は泥になっています。これは、土砂が一度に供給され、粒子の大きさが沈殿の速さがちがうことによりできた現象で級化構造といいます。これを使って地層の上下を判定することができます。橋の上流約50mにある断層を境に、そこから上流では地層が逆転しています。

跡倉層上部層は、きれいな整然とした層理が見られますが、広く調べてみると数m~数十mの大きいブロックにわかれていて、地層の走向・傾斜は大きく異なります。

古生物が生活していたことを示す跡を生痕化石といいます。万年橋下の右岸や逆転した地層で層理面(単層の表面、地層が堆積したときの海底面)を注意してみると、複雑な形に盛り上がった生物のはい跡が見られます。

水が流れると、海底の砂や泥の表面に流れの跡を示す線や模様ができることがあります。ときには何かが引きずられて線がついたりします。これらが地層面に残ったのが流痕で、流れの向き、ときには速さが推定できることがあります。

地層面にはたくさんの割れ目が入っていますが、その中で大きい割れ目に沿ってS字型に曲がった小さい割れ目が並んでいるところがあります。これを羽状割れ目といい、大きい割れ目の両側に、逆向きの力が働いたときにできると考えられています。白いのは石灰分が埋めているからです。

※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています。ぜひお出かけください。

青少年のための科学の祭典2013に参加してきました

7月27日(土)～28日(日)に千代田区にある科学技術館にて開催されたイベントにジオパークのブースを出展してきました。

今回は、山陰海岸ジオパーク・伊豆半島ジオパークと共同で「小さな砂つぶで大きな地球を探る」というテーマで出展し、各地域から砂を持ち寄り、訪れた人に顕微鏡で観察してもらいました。

下仁田からは馬山丘陵にあるネギ畑の砂を持って行き、下仁田ねごとジオパークの宣伝を行いました。ネギ畑の上に覆われた2万年前の火山灰を観察してもらいました。参加者は一見単なる砂の中に含まれるキラキラした鉱物を観察したり、磁石をつけてみたりして、砂の観察を楽しみました。



今回の企画には、世界遺産候補史跡荒船風穴・ジオ応援団や下仁田自然学校からもお手伝いいただき、たくさんの方にPRすることができました。さらに、学校の先生に下仁田ジオパークにおける教育活動についてもPRし、学校研修に検討していただけるという声もいただき、これを機に新たな展開が期待できそうです。

問い合わせ先 下仁田町自然史館(ジオパーク推進室) ☎70-3070

～税の公平性を保つために滞納税の縮小への取り組みとして～

不動産合同公売を実施 11月21日(木)

町では、高崎市・藤岡市・安中市・富岡市・西部県税事務所と合同で、町税の滞納のために差し押さえた不動産を入札によって公売します。公売する物件は下表のとおりで、面積などは登記簿によるものです。

詳しくは総務課にある物件詳細を記載した「公売広報」か、町ホームページ(URL <http://www.town.shimonita.lg.jp>)をご覧ください。下仁田町以外の物件については、各機関にお問い合わせください。売却区分番号下仁田町-1の物件については、町農業委員会の発行する買受適格証明書が入札参加に必要となりますが、申請から発効までに相当の期間を要しますのでご注意ください。また、公売は直前に中止する場合がありますので、必ず事前に確認してから入札に参加してください。

【不動産公売物件一覧】

売却区分番号	所在地	面積(m ²)	種類	最低入札価格(円)	公売保証金(円)	買受適格証明
下仁田町-1	大字宮室字道常	330	畑	1,270,000	127,000	要

- 入札日時 11月21日(木) 午後2時～2時15分(受付は午後1時から)
- 会場 高崎市役所3階第31会議室
- 持参する物 公売保証金、印鑑、委任状、買受適格証明など
- 売却決定日時 11月28日(木) 午前10時
- 売却決定場所(下仁田町分) 下仁田町役場1階応接室

問い合わせ先:総務課(内線330・331)